

2026年 5月 13日

麻酔科疼痛治療科の入院診療を受けられた患者さんへ

「胸腔鏡下手術における傍脊椎ブロックの単回投与と持続投与の鎮痛効果比較：後ろ向き観察研究」への協力のお願い

麻酔科疼痛治療科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2025年1月1日～2025年12月31日の間に、当院において、胸腔鏡手術を受けられた18歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028年3月31日

研究目的・利用方法：2025年1月1日から2025年12月31日までに岐阜大学医学部附属病院で胸腔鏡下手術を受け、傍脊椎ブロックが施行された患者を抽出し、単回投与群と持続神経ブロック群で検討します。診療録及び手術記録から患者データを調査し、患者属性、麻酔・手術時間、術中に使用した鎮静薬及び鎮痛薬の使用量、診療録から判断される術後48時間もしくはドレーン抜去までの術後疼痛の強度及び使用した鎮痛薬の用量・回数、吐き気の有無、術後の重篤な合併症の発生頻度などについて比較検討します。より安全かつ十分な術後鎮痛方法を明らかにすることができます。

以下の項目について、診療録より取得します。

研究に用いる情報の項目：すべて日常診療で実施された項目を用います。

年齢、性別、身長、体重、診断名、併存症、術式、麻酔時間及び手術時間、使用薬剤（フェンタニル、レミフェンタニル、ケタミン、モルヒネ、トラマドール、アセトアミノフェン、フルルビプロフェンアキセチル、ロピバカイン）とその使用量、術後48時間もしくはドレーン抜去までの疼痛の程度（看護記録から）、鎮痛薬の投与量、投与時間及び回数、吐き気の有無、周術期の重篤な合併症。

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2026年5月15日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせてください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出てください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病

院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 寄附講座周術期疼痛制御・人材育成

氏名：中西真有美

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 麻酔科疼痛治療科

電話番号：058-230-6404

氏名：中西真有美

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp